

一般言語学から見た日本語の語形成と音韻構造

■窪園晴夫[著]／A5判／本体4,500円＋税

『語形成と音韻構造』（市河賞、金田一賞受賞作）の続編として、語形成と音韻構造の関係（音韻構造の変化、音韻制約、統語制約、意味制約）をめぐる過去30余年間の筆者の研究を、国内外における研究の動向を踏まえてまとめた。



日本語構文大全 第III巻 談話の地平へ

■三原健一[著]／A5判／本体4,200円＋税

生成文法の枠組みで発掘されてきた、日本語の言語事実を総括する『日本語構文大全』第III巻（全III巻）。生成文法が発掘してきた成果に談話の視座から知見を加えることにより、強力なデータベースを示し、新たな地平を拓く。



決定木分析による言語研究

■玉岡賀津雄[著]／A5判／本体3,500円＋税

決定木分析は、予測した結果が樹形図で表示され直感的に結果を理解できるため、マーケティングをはじめ様々な分野で活用されている。言語研究にも応用可能なこの解析方法を、SPSSの操作方法とともに具体的な事例に基づき紹介。



ワークブック 方言で考える日本語学

■松丸真大/白岩広行/原田走一郎/平塚雄亮[著]／B5判／本体1,500円＋税

我々は、自分が考えているよりも日本語のことをよくわかっていない。日本語のしくみを、方言研究の視点を生かして日本語のしくみを基礎から考え、しくみを解き明かすために試行錯誤するための本。日本語の謎を解き明かす。



ミステリードラマの日本語 発話と記号の演出を探る

■泉子・K・メイナード[著]／A5判／本体5,400円＋税

談話分析の第一人者である著者が、2010年以降に放映されたミステリードラマ25作品253話分の会話を詳細に分析し、ドラマ制作者の創造的で複雑な演出のプロセスを、言語学、会話・談話分析、記号論の視点から明らかにする。



都市空間の言語生態 上海の言語景観と道路命名の歴史

■彭国躍[著]／A5判／本体5,400円＋税

中国の近代都市、上海の公共空間に現れる書記言語の生態の歴史を探究する。主に20世紀の間に上海の都市空間に表示された言語の種類、表現の内容や文字の形態が社会的環境の中でどのように変容していったのかなどを明らかにする。



社会言語学の枠組み

■井上史雄/田邊和子[編著]／A5判／本体2,200円＋税

社会言語学という学問の全体が論理的にわかるよう、変異を扱う方向と談話を扱う方向を組みあわせる体系的な枠組みを採用した新しい入門書。各章に【推薦図書】と【調査の課題】があり、大学生向けテキストに最適。もちろん独習にも。

